

令和3年度 香川県立図書館の図書館評価

I 図書館評価の概要

香川県立図書館では、運営の改善と図書館サービスの向上を図るため、図書館運営に関する評価の指標及び目標を設定し、運営状況について評価を行う「図書館評価」を実施した。

<総括>

- 評価指標の数値目標の達成状況は、12項目のうち、評価A(数値目標の達成率100%)が10項目、評価B(数値目標の達成率80%以上100%未満)が2項目となり、評価C(数値目標の達成率80%未満)はなかった。
- 重点目標「1. 図書館資料の整備充実」については、県民の課題解決支援に役立つ資料や調査研究に必要な専門的資料等を幅広く収集するとともに、特に郷土資料の収集では、関係機関等へ積極的な寄贈の働きかけを行うなどの結果、数値目標を達成した。引き続き、県民に必要とされる資料や市町立図書館等への支援に必要な資料の整備充実に努めたい。
- 重点目標「2. 図書館サービスの充実、強化」については、コロナ禍の行動制限の緩和が進む中、「来館者満足度」を除く全ての項目で数値目標は達成した。特にレファレンス件数については、窓口や電話での受付が大幅に増加したことにより、数値目標を大きく超える結果となった。一方、数値目標を達成できなかった「来館者満足度」については、今回の利用者アンケート等を参考に、引き続き利用者の利便性の向上や適切なサービスの提供に努める。
- 重点目標「3. 読書普及活動の充実」及び「4. 文化活動の推進」については、「展示等の実施回数」及び「イベント、講座、研修会等の開催回数」が数値目標を大きく上回った。今後とも、関係機関と連携・協力した展示、イベントの開催に一層取り組むとともに、数値目標を下回った「ホームページアクセス数」については、今後、コンテンツの充実を進めるなど、積極的な情報発信を行い、アクセス数の増加に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	① 蔵書冊数(冊)	1,097,000冊	1,099,069冊	100.2%	A
	② 郷土資料受入冊数	2,300冊	2,362冊	102.7%	A
2. 図書館サービスの充実、強化	③ 入館者数	380,000人	409,783人	107.8%	A
	④ 新規登録者数	3,000人	3,334人	111.1%	A
	⑤ 個人貸出冊数	825,000冊	857,678冊	104.0%	A
	⑥ レファレンス件数 (クイックレファレンスを除く)	1,200件	1,470件	122.5%	A
	⑦ 協力貸出冊数	6,500冊	6,672冊	102.6%	A
	⑧ 児童団体貸出・学校支援 文庫貸出冊数	8,000冊 団体2,500冊 学校5,500冊	8,958冊 団体2,818冊 学校6,140冊	112.0%	A
⑨ 来館者満足度	90%以上	88%	97.8%	B	
3. 読書普及活動の充実	⑩ ホームページアクセス数 (図書館トップページ)	360,000件	352,351件	97.9%	B
	⑪ 展示等の実施回数	60回以上	70回	116.7%	A
4. 文化活動の推進	⑫ イベント、講座、研修会等 の開催回数	20回以上 (うち子ども向け 7回以上)	23回 (うち子ども向け 8回)	115.0% (114.3%)	A (A)

評価A: 数値目標を達成した(達成率100%以上)

評価B: 数値目標を概ね達成した(達成率80%以上100%未満)

評価C: 数値目標を下回った(達成率80%未満)

II 図書館評価の達成状況

重点目標	評価指標	数値目標	3年度実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	① 蔵書冊数	1,097,000冊	1,099,069冊	100.2%	A

<達成状況等>

- 蔵書については、資料受入冊数が18,275冊（内訳：購入12,672冊、寄贈4,511冊、再用・その他1,092冊）で、廃棄冊数が869冊となり、差し引き17,406冊増加して蔵書冊数が1,099,069冊と、数値目標を2,069冊（0.2%）上回った。
- 県民の課題解決支援の資料、郷土資料、児童資料に加え、市町立図書館を支援するための資料などを重点的に収集するとともに、蔵書構成や利用状況を勘案し、適切な資料の収集・管理にも努めた。
- 特に、コロナ禍の影響下であったため、感染症に関する最新の知見、新しい生活様式や働き方に関する資料の収集に留意した。

30年度実績	元年度実績	2年度実績
1,044,763	1,063,486	1,081,663

<今後の取組み>

- 県民の新刊を充実してもらいたいとの要望に応じて、課題解決支援の資料、郷土資料、児童資料に加え、本県の中核図書館として市町立図書館を支援するための資料などを重点的に収集する。
- 郷土資料及び児童資料については、引き続き優先的に購入する一方、文芸書は定評のある著者の作品や受賞作、書評等に取り上げた作品を中心に収集し、家政、芸術、趣味など、類書が多数出版される分野については厳選して収集するなど、適切な資料の収集・保存に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	3年度実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	② 郷土資料受入冊数	2,300冊	2,362冊	102.7%	A

<達成状況等>

- 郷土資料の受入冊数については、県、市町及び関係機関等へ寄贈の呼びかけを行うなど積極的に行政資料等の収集に努め、数値目標を62冊（2.7%）上回った。
- 郷土資料の受入冊数の内訳は、購入451冊、寄贈1,683冊、再用・その他228冊となった。

30年度実績	元年度実績	2年度実績
2,312	2,320	2,369

<今後の取組み>

- 本県や県内市町に関する資料及び県内で発行された資料を積極的に収集し、県民に提供するとともに、貴重な文化資源として永年保存に努める。
- 県庁各課には、行政資料や専門雑誌を、県民には、本県に関する幅広い分野の資料についての寄贈依頼を行う。

重点目標	評価指標	数値目標	3年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	③ 入館者数	380,000人	409,783人	107.8%	A

<達成状況等>

○入館者数は、1年を通して、不要不急の外出を控える等の協力要請が行われたことに加え、県有施設の対応として当館では、5月15日～31日、8月14日～9月30日の平日の閉館時刻の2時間繰上げ措置を行ったものの、開館日数が298日と臨時休館にいたらなかったことから、数値目標を29,783人（7.8%）上回った。

30年度実績	元年度実績	2年度実績
459,102	481,282	373,213

<今後の取組み>

- 利用者が安心して図書館を利用できるよう、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底する。
- 県民の多様なニーズへの対応や学習情報の提供など、県民の生涯学習活動を支える基盤として、県民がいつでも気軽に利用できる身近な図書館をめざして、利用者サービスの向上に努める。
- 市町立図書館や関係機関、ボランティア団体等と連携を密にし、地域や住民の課題解決を支援する機能や読書バリアフリー法を踏まえた読書環境の充実に努める。
- 利用者の利便性を高めるため、7月から9月の金曜日（13日間）の開館時間の延長について、令和4年度も実施する。

重点目標	評価指標	数値目標	3年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	④ 新規登録者数	3,000人	3,334人	111.1%	A

<達成状況等>

- 新規登録者数は、数値目標を334人（11.1%）上回った。
- 令和3年度の新規登録者年代別内訳は、0～12歳 1,036人、13～18歳 172人、19～39歳 1,288人、40～59歳594人、60歳以上 244人である。令和2年度と比較した年代別増減率は、0～12歳は308人（42.3%）の増、13～18歳は5人（2.8%）の減、19～39歳は4人（0.3%）の減、40～59歳は26人（4.6%）の増、60歳以上は6人（2.4%）の減となり、コロナ禍の影響で大きく減少した13歳までの登録者が顕著に回復したが、依然として、13～18歳、60歳以上は少ない。

30年度実績	元年度実績	2年度実績
4,033	3,736	3,015

<今後の取組み>

- 新規採用の教職員や県職員、図書館近隣の高校や企業等に対して、図書館の利用案内を配布するなどPRに努め、図書館の利用や新規の登録を、引き続き呼びかける。

重点目標	評価指標	数値目標	3年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑤ 個人貸出冊数	825,000冊	857,678冊	104.0%	A

<達成状況等>

- 令和3年度の個人貸出冊数は、一般書が433,846冊、児童書が360,323冊となり、数値目標を32,678冊（4.0%）上回った。
- 感染症対策を講じた図書館への理解を深める行事の開催や、資料を紹介する魅力あふれるさまざまな展示の実施により読書の大切さや楽しさが広まったことが、個人貸出冊数の増加につながった。

30年度実績	元年度実績	2年度実績
897,552	884,294	821,206

<今後の取組み>

- 県民の生活や仕事に役立つ資料、社会的に関心の高い資料、調査研究に必要な専門的資料などの収集に留意するとともに、課題解決支援コーナーの充実や関心の高いテーマでのミニ展示の実施など、情報発信を行うとともに、県民の学習ニーズや地域の課題解決に対応した資料の充実に務める。

重点目標	評価指標	数値目標	3年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑥ レファレンス件数（クイックレファレンスを除く）	1,200件	1,470件	122.5%	A

<達成状況等>

- レファレンスについては、口頭での質問が、入館者の回復にともない増加したことに加え、非来館による電話での質問の大幅な増加により、数値目標を270件（22.5%）上回った。
- 内訳は、来館者の口頭での質問が784件、電話での質問が457件、文書での質問が53件、メールでの質問が176件であった。
- 夏季休業期間中には、郷土資料コーナーで「身近な地域を調べよう」、児童資料コーナーで「香川のことをしらべる本」、Young Generationコーナーで「夏休みに役立つ本」の展示を実施するとともに、子どものための調べ方ガイドを新たに1テーマ作成し、児童・生徒の調べ学習の支援に取り組んだ。

30年度実績	元年度実績	2年度実績
1,215	1,179	1,200

<今後の取組み>

- レファレンスサービスに不可欠な参考資料や基本図書の充実に努めるとともに、課題解決支援に役立つ情報を提供し、質の高いレファレンスサービスの提供に努める。
- 感染対策を踏まえた「新しい生活様式」への転換・定着が進むなか、増加する非来館によるレファレンスの質問に的確に回答するとともに、県民が調査や研究を行う際、インターネットを通じてレファレンス事例を容易に参照できるよう、国立国会図書館のレファレンス協同データベースへのレファレンス事例の登録に取り組む。
- 引き続き、新たなテーマで「調べ方ガイド」を作成するなど、レファレンスサービスについて、より一層の広報に努める。
- 夏季休業期間中には、児童資料コーナー、Young Generationコーナー、郷土資料コーナーにおいて、調べものに役立つ資料を展示し、自由研究などに活用してもらう。

重点目標	評価指標	数値目標	3年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑦ 協力貸出冊数	6,500冊	6,672冊	102.6%	A

<達成状況等>

- 協力貸出については、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館により、協力便の運行ができなかった町立図書館もあったが、数値目標を172冊（2.6%）上回った。
- 協力貸出対象ごとに、市町立図書館へは6,656冊、市町立図書館未設置町（直島町、琴平町）の公民館等へは16冊貸し出した。
- 協力貸出冊数の1館当たりの平均は208冊で、最多貸出館は961冊、最小貸出館は0冊であった。

30年度実績	元年度実績	2年度実績
6,451	6,472	6,668

<今後の取組み>

- 本県における中核図書館として、市町立図書館を支援するために必要な資料を重点的に収集し、市町立図書館への支援に努める。
- 県立図書館と市町立図書館等における、協力貸出資料の搬送を行う協力便については、継続的に週2回の運行に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	3年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑧ 児童団体貸出・学校支援文庫貸出冊数	8,000冊 団体2,500冊 学校5,500冊	8,958冊 団体2,818冊 学校6,140冊	112.0%	A

<達成状況等>

- 児童団体貸出・学校支援文庫貸出については、ボランティア団体による学校等でのおはなし会の再開に伴う児童団体貸出の回復に加え、積極的なPRを通じた活用定着による学校支援文庫貸出の増加などにより、数値目標を958冊（12.0%）上回った。
- 学校支援文庫貸出冊数の内訳は、小学生版が5,960冊、中学校版が180冊であった。
- 学校支援文庫については、ホームページの「子どもの読書応援ページ」への掲載のほか、庁内LANの掲示板への掲載、県教育センター及び高松市総合教育センターでの新規採用教員研修等での周知を行った。

30年度実績	元年度実績	2年度実績
7,824冊 団体2,584冊 学校5,240冊	9,258冊 団体3,338冊 学校5,920冊	7,831冊 団体2,251冊 学校5,580冊

<今後の取組み>

- 児童団体貸出及び学校支援文庫について、引き続き利用促進を図り、子どもの読書習慣の一層の定着を図る。特に、中学校における学習活動や読書活動を支援するため、学校支援文庫中学版の利用促進のための積極的なPRに努める。

重点目標	評価指標	数値目標	3年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑨ 来館者満足度	90%以上	88%	97.8%	B

<達成状況等>

- 来館者満足度は、数値目標を2%下回った。
- 令和4年1月25日（火）～1月30日（日）の6日間、来館者を対象に「図書館利用に関するアンケート」調査を実施した。526人（男性253人（48%）、女性265人（50%）、無回答8人（2%））の回答のうち、当館のサービスの満足度についての質問に対して、満足254人（48%）、やや満足213人（40%）との回答を得た。

30年度実績	元年度実績	2年度実績
88%	89%	88%

<今後の取組み>

- アンケート調査で今後の取組みとして要望のあった、「図書や雑誌の充実」、「行事・講座等の充実」、「健康、医療、子育てなどの生活に役立つ情報の提供」については、一層満足度が高まるよう新鮮で魅力ある資料の収集をはじめ、子どもから大人まで様々な世代を対象とした企画展示や行事の実施に加え、障害者や高齢者等が利用しやすい資料やサービスの充実等に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	3年度実績	達成率	評価
3. 読書普及活動の充実	⑩ ホームページアクセス数（図書館トップページ）	360,000件	352,351件	97.9%	B

<達成状況等>

- ホームページアクセス数については、数値目標を7,649件（2.1%）下回った。
- 内訳は、webサイト295,798件、携帯サイト2,745件、スマートフォンサイト29,998件、市町立図書館用サイト23,810件となった。
- 蔵書検索や貸出中資料の予約といった機能の提供に加え、webサイトでは、新着図書の案内、講座・展示の案内、ブックリストなど、図書館サービスと連動した多彩な情報の提供を積極的に行っている。
- 当館に所蔵する江戸時代や明治時代に作成された絵図や古文書など郷土資料をデジタル化しインターネット上で公開する「香川県立図書館デジタルライブラリー」では、12月に古文書29点を新たに追加し、公開点数が384件となった。

30年度実績	元年度実績	2年度実績
476,003	405,315	351,947

<今後の取組み>

- ホームページは当館における重要な情報発信ツールであることから、引き続き、企画展示やイベントなどの情報をタイムリーに発信するほか、新たなテーマの「調べ方ガイド」掲載やデジタルライブラリーのコンテンツ充実など、ホームページの魅力向上に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	3年度実績	達成率	評価
3. 読書普及活動の充実	⑪ 展示等の実施回数	60回以上	70回	116.7%	A

<達成状況等>

- 展示等の実施については、展示コーナーでの企画展示や各コーナーでの時宜に合ったテーマの展示を積極的に実施し、数値目標を10回(16.7%)上回った。
- 香川大学図書館・瀬戸内圏研究センターと連携した企画展示「干潟～陸と海の境界に現れる生き物天国」や県立図書館と県内公共図書館22館が、初の連携企画展示「#つながる図書館～思い出の本～忘れられない一冊～」を県内一斉で実施するなど、県内の関係機関と連携した展示に数多く取り組んだ。

- ・展示コーナー企画展示等10回(うち他の機関との連携・協力6回)
- ・イベント関連本展示等12回
- ・子育て支援コーナー企画展示5回
- ・健やか生活応援コーナーミニ展示6回
- ・ビジネス情報・しごと応援コーナーミニ展示6回
- ・Young Generation コーナーミニ展示など8回
- ・児童資料コーナー「今月の本」など18回
- ・雑誌コーナー「なつかしのバックナンバー」4回
- ・郷土資料コーナーミニ展示1回

30年度実績	元年度実績	2年度実績
78回	74回	76回

<今後の取組み>

- 新たな利用者の獲得や関連資料の貸出のきっかけとなるよう、今後とも、関係機関と連携・協力するなどして、利用者の興味を喚起する新鮮で魅力あふれる展示を企画・実施する。

重点目標	評価指標	数値目標	3年度実績	達成率	評価
4. 文化活動の推進	⑫ イベント、講座、研修会等の開催回数	20回以上(うち子ども向け7回以上)	23回(うち子ども向け8回)	115.0%(114.3%)	A(A)

<達成状況等>

- 令和3年度のイベント、講座、研修会等の開催については、イベントや移動に関する行動制限の緩和に伴い、開催回数20回以上(うち子ども向け7回以上)の数値目標を3回(15.0%)(うち子ども向け1回(14.3%))上回った。
- イベント等の開催に際しては、定員の抑制に加え、参加者へのマスク着用や参加者間の間隔確保などの協力要請といった新型コロナウイルス感染対策の徹底を図った。
- 図書館職員やボランティアを対象に、子どもと本をむすぶ基礎的な知識と技術を学ぶ初心者向け全3回の連続講座を開催したほか、3年度には新たに、職員によるおはなし会を2回開催し、絵本の読み聞かせや手遊びなどを行った。
また、独立行政法人水資源機構と連携し、「2021夏休み特別企画 早明浦ダムオンライン見学会」を開催するなど関係機関と連携した講座やミニセミナーを開催するなど、文化活動の推進に努めた。

- ・イベント11回
子ども読書まつり3回、図書館コンサート2回、関係機関との連携によるイベント1回、高校生によるおはなし会1回、図書館探検2回、職員によるおはなし会2回
- ・講座7回
高校生を対象にした読み聞かせ講座1回、健やか生活応援講座2回、子どもと本をむすぶ基礎講座3回、子育て支援講座1回
- ・研修会等5回
図書館職員研修会(初任者研修1回、専門研修1回)、香川県図書館大会1回、実務担当者会2回

30年度実績	元年度実績	2年度実績
20回	21回	20回

<今後の取組み>

- 子どもから大人まで様々な利用者が参加でき、図書館への理解を深めるためのイベントを企画し開催する。また、国や県などの関係機関と連携して、多彩なイベントや講座の提供に努める。
- 子どもの読書活動を推進する人材の資質向上を図るため、令和4年度は、現在、活動中のボランティアや、前年度までの基礎講座の受講者を対象に、子どもと本をむすぶスキルアップ講座を開催する。
- 市町立図書館職員を対象とした、専門的な知識・技術に関する研修を開催するとともに、市町立図書館実務担当者会を開催し、互いに学び研鑽しあうことができる機会を設ける。

Ⅲ 外部評価

令和3年度図書館評価の達成状況については、令和4年7月22日開催の令和4年度第1回香川県立図書館協議会において、委員の外部評価を受けた。

<委員からの意見>

○コロナ禍という状況を踏まえた適切な数値目標が設定されており、大部分の評価指標において評価Aを達成できたことは、予測困難な中でも県立図書館として努力が実を結んだ結果であると高く評価できる。

○コロナ禍の状況下で、いつもながら地道な努力をされている。新たに、県内公共図書館一斉の連携企画展「#つながる図書館」を実施し、確実に歩を進めていることが窺える。

○毎年度80%後半で推移している「来館者満足度」については、自由記述などからひとつの目標を達成しているように見て取れる。「利用者アンケート」の質問項目についてはさらなる改善につながる内容等への見直しを検討してはどうか。

○令和3年度は、コロナ禍という状況を反映した数値目標の修正に踏み出したことに積極的な意義が認められる。この経験を、今後のアフターコロナを見据えた基本方針・重点目標の再定義において生かすことが求められる。県立図書館の役割が整理されることで、評価指標及び数値目標の精度が高まることを期待したい。